

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	電気・電子回路学		
英文授業科目名			
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-		
開講学科・専攻	情報工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	内田 雅文		
居室	西8-805		

公開E-Mail	授業関連Webページ
uchi@ee.uec.ac.jp	

【主題および達成目標】
(a) 主題：電気回路、電子回路の構成要素である各種回路素子の特性を理解し、回路解析に関する諸法則、各種解析手法を習得することが主題である。
(b) 達成目標：各種回路素子の特性を理解し、それらが組み合わされた電気回路、電子回路の解析とその性質を理解する能力を身に着けることを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
参考書：電気学会大学講座 電気回路論（電気学会） インターユニバーシティ 電子回路A（オーム社）

【授業内容とその進め方】
各種回路素子の特性を紹介しながら、回路の基本構成や回路上で成り立つ法則、定理を説明する。 第1章 抵抗回路 第2章 実験法則と簡単な回路

電気通信大学 平成18年度シラバス

- 第3章 回路解析に有効なテクニック
- 第4章 インダクタンスとキャパシタンス
- 第5章 非線形素子
- 第6章 増幅回路

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a) 評価方法：

中間試験、期末試験およびレポートで決定する。

$$(\text{成績評価}) = (\text{期末試験の評価点} \times 70\%) + (\text{レポートの評価点} \times 30\%)$$

(b) 評価基準：

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とする。

- ・各種回路素子の区別とその違いが理解できること。
- ・各種回路解析手法を理解し、回路解析に適用できること。

【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、Eメールで事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

【その他】